

(要領第5の2(1)関係)
(様式3)個別箇所評価シート

分野	人家等に対する地すべり対策・急傾斜地崩壊対策		事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等				
市町村名	松川村	ふりがな 箇所名	ねずめ 鼠穴		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～ 年度				
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	重力式擁壁工 L=650m 落石防護柵工 L=650m	130,000			61,750	6,500	55,575	6,175	
要	H25年度									
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	(30)	保全対象人家戸数	■ 10戸以上		□ 5～9戸	□ 4戸未満		B	10	
		保全対象公共施設数	■ 2箇所以上		□ 1箇所	□ なし			8	
		保全対象に援護者施設があるか	□ 重要施設あり		□ 一般施設あり	■ なし			0	
		保全対象に避難所・避難経路があるか	■ あり		□ なし				2	
		小計							20	
	(15)	過去の災害履歴	□ 過去10年に1回以上		□ 災害履歴地	■ なし		C	0	
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大		□ 中	□ 小			3	
		防災計画上の位置づけ	■ 位置づけあり		□ 位置づけなし				2	
	小計							5		
	(15)	効率性	費用対効果(B/C)		■ B/C3.0以上		□ B/C1.0以上3.0未満	□ B/C1.0未満	A	9
		早期発現度	■ 5年未満		□ 5年～10年未満		□ 10年以上			6
		小計								15
	(25)	緊急性	斜面の高さ	■ 30m以上		□ 10m以上30m未満	□ 5m以上10m未満		A	5
		斜面平均勾配	□ 45° 以上		□ 40° 以上45° 未満	■ 30° 以上40° 未満		3		
		地質状況	□ 崩積土、火山砕屑物、強風化岩		■ 段丘堆積物		□ 軟岩・その他			3
		斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)	■ あり		□ なし					3
		植生の状況	□ 不良		■ 普通		□ 良好			2
		保全対象の位置	■ がけ下にある		□ がけ上にある					5
	小計							21		
	(15)	計画	地元の協力	□ 用地等の協力が得られる		■ 用地等の協力が概ね得られる		□ 協力が現時点では得られていない	A	5
		熟度	地域からの要望	■ 高い		□ それほど高くない				7
		小計								12
	費用対効果(B/C)		3.74		評価の合計			B	73	
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	高さ70mのがけ下に10件の保全対象があり、特に鼠穴集落営農組合集荷所は地区関係者が利用している。土砂災害危険区域の指定に伴い地元関係者から法面に不安定な転石が見られるため、地元から対策の要望が上がっている。							
地域からの要望経緯		平21年6月、地元から土砂法の説明要望があり、その時に対策の要望がなされる。H23年にも松川村から要望有り								
事業説明等の経緯		平成21年6月土砂災害防止法の指定にかかわる説明会後の出前講座で、鼠穴地区住民から要望あり。								
環境・景観への配慮項目		擁壁工法により、既存の健全な立木を残すとともに在来種を中心とした緑化を図り、環境及び景観に配慮する予定。								
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。								
特記事項	地元は対策に対しての関心が高いため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。 H21年 土砂災害防止法指定									
地域の合意形成	□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明			
部意見	地元要望もあり事業の必要性はあるが、近年では斜面変状が少ないことから、ほかの保全対象に災害時要援護者施設を有する箇所の着手を優先して経過観察とし、H25新規箇所としては見送りたい。				行政改革課見	重要性がやや低い。				